

のとじま水族館再開園の挨拶文

まず、このたびの石川県能登地方を震源とする令和 6 年能登半島地震によりお亡くなりになられた方々に謹んでお悔やみ申し上げますとともに、被災された皆さまに心からお見舞い申し上げます。そして多くの悲しみと苦勞を乗り越えて、今日の一部再開園に漕ぎ着けた古くからの日動水の仲間であるのとじま水族館はじめ石川県公社の皆さまの努力に敬意を表します。

市民や県民を含む多くの方々が、今日の日を楽しみに待ちわびておられたと思います。実は、1995 年 1 月 17 日に発生した阪神淡路大震災当時、私は神戸の動物園で働いていました。のとじま水族館と同様に、園内の復旧作業や被災者支援のため長期休園を余儀なくされました。65 日後に再開園を決めたのですが、まだ市内が復興していない時に動物園を再開しても良いのだろうか、開園しても人々は来てくれるのだろうかと迷ったものです。でも、いざ開園の日を迎えると、いつもより多くの来園者が正門前に並んでいました。そして、園内で会った人々から「開園していただきありがとうございました」とか「この日を楽しみに待っていましたよ」という感謝の言葉をかけてもらったのです。この時ほど、動物園の役割を痛感したことはありません。

のとじま水族館が、これからも人々の安らぎと楽しみ場となり、いのちの大切さを伝え、知り、学び、伝え、そして守る場であり続けることを願っております。

再開園、本当におめでとうございます。

2024/07/20

村田浩一